



ロシアNIS経済速報

一般社団法人 ロシアNIS貿易会 2012年（平成24年）10月15日号 No. 1575

目次

■ カザフスタン政権人事異動に関する背景分析	D.サトパエフ 1
■ トピックス	8
郵船ロジスティクス、ナホトカ支店設立／	8
マツダがウラジオストクで生産開始／	9
FESCOと伏木海陸運送が定期便就航／	9
サハリンからのタンカーが石狩LNG基地入港／	9
日建設計などがスマートシティをロシアで整備／	9
ロシア消費市場の20%は不正商品／	9
ソヴィエツカヤガワニ港湾特区、廃止の危機／	10
京セラ、タジクに太陽光発電システム供給／	10

カザフスタン政権人事異動に関する背景分析

Risks Assessment Group 代表

D.サトパエフ

はじめに

ロシアNIS経済研究所は、カザフスタンの著名な政治評論家D.サトパエフ氏が主宰する民間の政治経済調査機関「Risks Assessment Group」と長期にわたる協力関係にある。前号（No.1574）でお知らせしたとおり、カザフスタンではこの9月末に大統領府長官、首相等、政権内の重要ポストにおいて異動が行われたが、これはかねてより予測されたものであったため、当研究所ではRisks Assessment Groupに予め事前の予測、および事後の背景分析に関するレポートの発注を行っていた。今号ではうち後者の抄訳をご紹介します。フルテキストについてはROTOBOが事務局を務める「日本カザフスタン投資環境整備ネットワーク」ホームページ (<http://www.jp-kz.org/>) に追って掲載予定であるので、ご関心の向きは参照されたい。